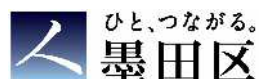


(素案)

第二次すみだ環境の共創プラン 進捗状況評価 (令和2年度実績)



令和3年 月

環境担当 環境保全課

目次

1 重点プロジェクト	1
重点プロジェクト1 エコライフすみだの推進	2
重点プロジェクト2 緑感あふれる空間の創造	4
重点プロジェクト3 ごみ減量化の推進	5
重点プロジェクト4 ヒートアイランド対策の推進	6
重点プロジェクト5 環境体験学習の充実	7
(重点プロジェクト6 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催 への対応(令和元年度終了))	
2 基本目標	8
基本目標1 温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまち	9
・個別目標1-1 オールすみだで省エネルギー行動を実践する	11
・個別目標1-2 再生可能エネルギーの導入を推進する	14
・個別目標1-3 まち全体でエネルギー利用の効率化を推進する	15
基本目標2 身近な緑と水辺に親しみ、生きものとふれあえるまち	17
・個別目標2-1 緑感を向上する	18
・個別目標2-2 水と緑の空間を整備する	21
・個別目標2-3 生物多様性に関する理解を深める	23
基本目標3 資源循環型社会の実現を目指すまち	25
・個別目標3-1 ごみの発生抑制と有効利用を促進する	26
・個別目標3-2 廃棄物の適正処理を推進する	30
・個別目標3-3 雨水を有効活用する	31
基本目標4 良好な生活環境が確保され、安心とやすらぎが実感できる 住みよいまち	32
・個別目標4-1 安全安心を実感できるまちをつくる	33
・個別目標4-2 気候変動に適したまちをつくる	36
・個別目標4-3 景観に配慮したまちをつくる	39
基本目標5 環境活動を実践する人が育つまち	41
・個別目標5-1 環境体験学習を推進する	42
・個別目標5-2 協働による環境活動を推進する	45

基本 目標	個別 目標	個別事業		所管課	ページ	
1	1-1	1	墨田区地球温暖化対策に関する普及・啓発	環境保全課	11	
		2	地球温暖化に関する企画展示の実施	環境保全課	11	
		3	すみだエコポイント事業の推進	【廃止】	11	
		4	環境家計簿の普及	環境保全課	11	
		5	エネルギーの見える化の促進	【廃止】	11	
		6	省エネ診断事業の取組の支援	環境保全課	11	
		7	集合住宅（共用部分）の省エネルギー化に関する普及・啓発	環境保全課	11	
		1	省エネ診断事業・エコチューニングへの取組の支援	環境保全課	12	
		2	環境マネジメントシステムの導入支援	環境保全課	12	
		1	墨田区地球温暖化対策実行計画（区事務事業編）の推進	環境保全課	12	
		2	フィフティ・フィフティプログラムの推進	【廃止】	12	
		3	エコチューニングの推進	各所管課	12,13	
		4	庁舎リフレッシュ計画の推進	総務課	12	
		5	道路照明灯・公園灯のLED化	道路公園課	12	
		1-2	1	再生可能エネルギーの普及・啓発	環境保全課	14
	2	エコスクールの推進	庶務課	14		
	3	カーボンオフセット事業の検討	環境保全課	14		
	4	エコ住宅に関する情報提供	環境保全課	14		
	1	1	太陽光発電・太陽熱利用システム導入の推進 （地球温暖化防止設備導入助成制度の推進）	環境保全課	14	
	2	省エネ機器普及支援事業の検討・推進	環境保全課	14		
	1-3	1	パンフレット「（仮）エコ建築のすすめ」を活用した家庭や事業所からの排熱の抑制、省エネ配慮についての普及・啓発	環境保全課	15	
	2	建築物の断熱施工の推進 （地球温暖化防止設備導入助成制度の推進）	環境保全課	15		
	3	大規模開発における地域冷暖房等の導入促進	環境保全課	15		
	1	公共交通機関の積極的な利用の普及・啓発	環境保全課	15		
	2	船着場の整備と水上交通の普及	都市整備課	15		
	3	次世代自動車の普及・啓発	環境保全課	16		
	4	アイドリングストップなどエコドライブの普及・啓発	環境保全課	16		
	5	歩道と車道の分離のための道づくりなどの交通環境の整備	道路公園課	16		
	6	自転車利用の啓発	環境保全課	16		
	7	自転車専用レーンの整備	道路公園課	16		
	1	水素社会の実現に向けた基盤整備の検討	環境保全課	16		
	2	2-1	1	まちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）による緑と花のネットワークづくりの推進	環境保全課	18
	2	2	ハンギングバスケットによる緑感の向上	環境保全課	18	
3	緑と花の学習園の機能充実	環境保全課	18			
4	立体緑化（屋上及び壁面緑化）の推進	環境保全課	18			

基本 目標	個別 目標	個別事業			所管課	ページ	
2	2-1		5	緑のへの設置奨励	環境保全課	19	
			6	緑のカーテンの普及	環境保全課	19	
			7	一定規模以上の建設事業に対する緑化指導	環境保全課	19	
			8	在来植物の保全・保護	環境保全課	19	
			9	エコポケット（小さな自然空間）の創出	環境保全課	19	
		1	1	自転車・歩行者通行空間再整備事業（旧すみだ花の道整備事業）の推進	道路公園課	20	
			2	道路や公共施設等における緑化の推進	道路公園課 環境保全課	20	
		2	1	特別保全樹木助成制度の推進	環境保全課	20	
			2	森林整備体験事業等の推進	環境保全課	20	
		2-2		1	公園の新設・再整備	都市整備課 道路公園課	21
	2			錦糸公園・旧安田庭園・旧中川水辺公園・隅田公園の整備	都市整備課 道路公園課	21	
	1		1	親水公園の整備（大横川親水公園・豎川親水公園）	道路公園課	22	
			2	北十間川水辺活用構想に基づく水辺の整備	都市整備課	22	
	3		1	河川整備における自然環境の再生	都市整備課 道路公園課	22	
	2-3		1	自然の実態把握	環境保全課	23	
			2	生物多様性地域戦略の策定検討	環境保全課	23	
			3	生物多様性の保全に係る周知・啓発の推進	環境保全課	23	
		1	1	荒川自然生態園の整備	都市整備課	23	
			2	ヤゴ救出作戦・トンボフェアの実施	環境保全課	23	
			3	ビオトープの整備	環境保全課	24	
			4	自然環境観察員養成講座の開催	環境保全課	24	
			5	緑と花のサポーター制度の推進	環境保全課	24	
	3	3-1		1	ごみ減量とリサイクルに関する情報提供	すみだ清掃事務所	26
2				外国語広報の充実	すみだ清掃事務所	26	
3				生ごみのリサイクルの推進	すみだ清掃事務所	26	
4				「マイバッグ運動」の推進	すみだ清掃事務所	26	
5				小規模事業所リサイクルシステム（エコッチャ）の促進	すみだ清掃事務所	27	
1				1	資源回収事業の推進	すみだ清掃事務所	27
				2	集団資源回収への支援	すみだ清掃事務所	27
			3	リサイクルブック事業の実施	ひきふね図書館	27	
			4	リサイクル清掃地域推進委員制度の推進	すみだ清掃事務所	27	
			5	分別排出の徹底	すみだ清掃事務所	28	
			6	事業者の適正処理の指導及び自主的な取組の促進	すみだ清掃事務所	28	
7			一般廃棄物処理業の許可及び指導	すみだ清掃事務所	28		

基本 目標	個別 目標	個別事業		所管課	ページ		
3	3-1	8	リサイクル・清掃事業の効率化	すみだ清掃事務所	28		
		9	情報公開の推進	すみだ清掃事務所	29		
		10	リサイクル・清掃事業の継続性の確保	すみだ清掃事務所	29		
		11	災害時における廃棄物処理対策の整備	すみだ清掃事務所	29		
		12	環境負荷の少ない収集・運搬車両の導入	すみだ清掃事務所	29		
		13	サーマルリサイクルの継続推進	すみだ清掃事務所	29		
	3-2		1	クリーンキャンペーンの実施	すみだ清掃事務所	30	
			2	路上喫煙防止対策の推進	地域活動推進課	30	
			1	不法投棄防止対策の推進	すみだ清掃事務所	30	
			2	資源持ち去り防止対策の推進	すみだ清掃事務所	30	
	3-3		1	雨水利用の啓発・情報発信	環境保全課	31	
			2	雨水利用促進助成及び雨水の貯留・浸透指導	環境保全課	31	
			1	雨水利用ネットワーク事業の推進	環境保全課	31	
4	4-1	1	環境監視事業の推進	環境保全課	33		
		2	土壌汚染対策事業の推進	環境保全課	33		
		3	工場認可及び公害防止指導事業の推進	環境保全課	33		
		4	公害苦情処理事業の推進	環境保全課	33		
		5	民間建築物アスベスト調査助成事業の推進	環境保全課	34		
		6	アスベスト対策資金融資あっ旋事業の推進	経営支援課	34		
		7	公害防止資金融資あっ旋事業の推進	経営支援課	34		
		8	ホームページ等による事業者向け情報提供	環境保全課	34		
		9	有害化学物質対策事業の推進	環境保全課	34		
	4-2		1	問題となる環境リスクに関する情報収集・提供	環境保全課	35	
			1	老朽危険家屋等の所有者等への指導・助言等の実施	安全支援課	35	
			1	家庭や事業所からの排熱の抑制についての普及・啓発	環境保全課	36	
			2	建築物の遮熱施工の推進（地球温暖化防止設備導入助成制度の推進）	環境保全課	36	
			3	保水性舗装などを施した区道の整備	道路公園課	36	
			4	校庭の芝生化	庶務課	36	
			5	立体緑化（屋上及び壁面緑化）の推進	環境保全課	37	
			6	緑のへの設置奨励	環境保全課	37	
			7	緑のカーテンの普及	環境保全課	37	
			8	一定規模以上の建設事業に対する緑化指導	環境保全課	37	
			1	熱中症の予防に関する普及・啓発	保健計画課	38	
			2	まちかどクールスポットの設置	環境保全課	38	
				1	堤防等の耐震性や治水機能の向上	都市整備課	38
		2		雨水の貯留、浸透及び利用の推進	環境保全課	38	
		3		下水の排水能力の強化	都市整備課	38	
		4-3		1	景観まちづくり推進事業	都市計画課	39

基本 目標	個別 目標	個別事業		所管課	ページ	
4	4-3	1	放置自転車対策の推進	土木管理課	39	
		2	自転車駐車場の整備	土木管理課	40	
		3	道路不正使用の是正	土木管理課	40	
5	5-1	1	環境・リサイクル体験学習事業の推進	環境保全課	42	
		2	雨水利用体験学習事業の推進	環境保全課	42	
		3	環境体験学習出前事業の推進	環境保全課	42	
		4	学校向け環境啓発冊子の配布	環境保全課	42	
		5	エコライフ講座の開催	環境保全課	42	
		6	リサイクル・清掃事業に関する学習の推進	すみだ清掃事務所	43	
		7	自然観察会・講座の開催	環境保全課	43	
		8	ビオトープを活用した環境学習の推進	環境保全課	43	
			1	環境体験学習の場（大横川親水公園、荒川河川敷、緑と花の学習園）の充実・整備	都市整備課 道路公園課 環境保全課	43
			2	環境体験学習の活動と交流の推進	環境保全課	43
			1	区報、区ホームページ、町内会回覧版などを活用した環境活動情報の強化	環境保全課	44
			2	区内で環境活動を行っている個人・事業者・団体の取組の紹介	環境保全課	44
	5-2		1	環境ボランティアの拡大	環境保全課	45
			2	環境リーダーの育成	環境保全課	45
			3	自然環境観察員養成講座の開催	環境保全課	46
			4	緑と花のサポーター制度の推進	環境保全課	46
			1	中小企業に対する省エネ対策の推進	環境保全課	46
2			環境マネジメント関連規格認証の取得支援	環境保全課	46	
3			環境・リサイクル技術及び製品開発の支援	経営支援課	46	
		1	すみだ環境共創区民会議・区内の環境団体やボランティアとの連携した環境活動やイベントの開催・充実	環境保全課	46	

重点プロジェクト



【 重点プロジェクト1 】 エコライフすみだの推進



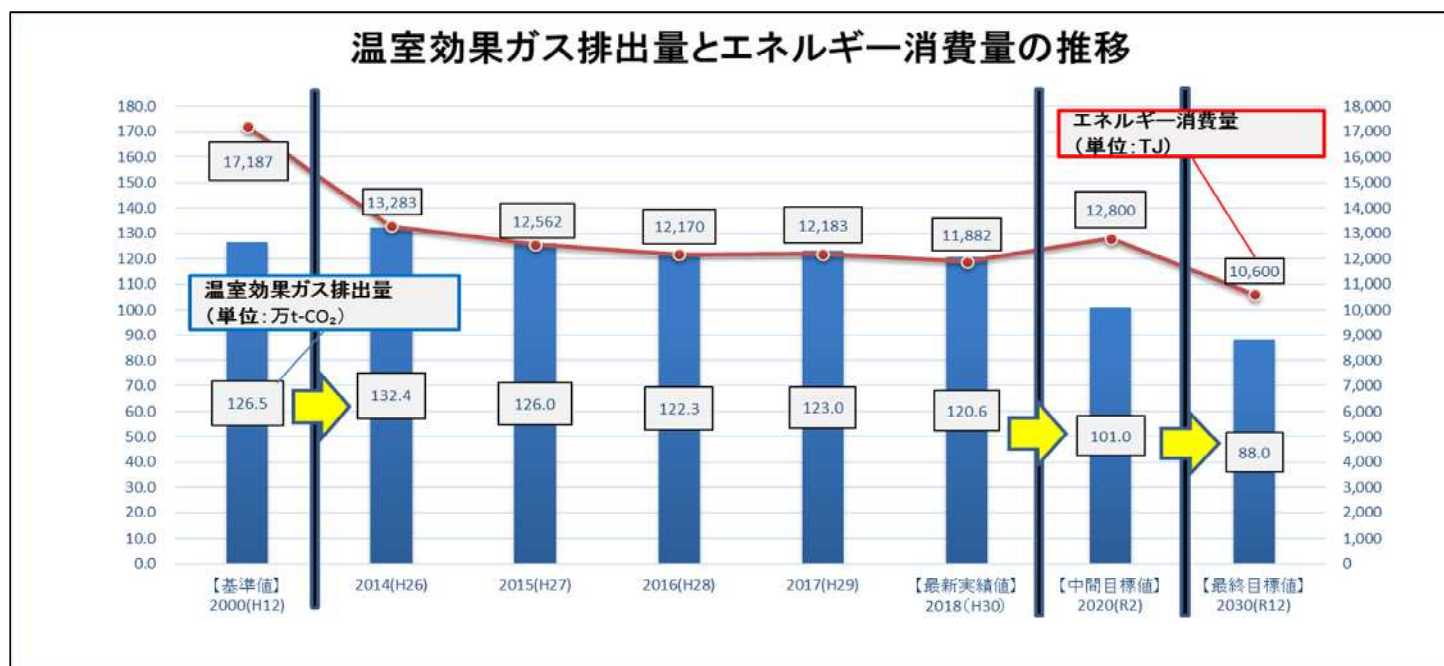
【 プロジェクトの目的 】

墨田区の温室効果ガス排出量は、家庭部門及び業務部門からの排出が多く占めている。
 そのため、家庭や事業所における自主的な省エネルギー活動の底上げを図り、区域全体で積極的に地球温暖化対策を推進していくことを目的とする。

【 プロジェクトの活動指標 】

指標(1)	基準値 2000年度 (H12)	前年度実績 2017年度 (H29)	最新年度実績値 2018年度 (H30)	中間目標値 2020年度 (R2)	最終目標値 2030年度 (R12)
区民1人あたりの 温室効果ガス排出量	5.7t-CO	4.6t-CO	4.4t-CO	3.8t-CO	3.1t-CO
【参考】区域における 温室効果ガス排出量	126.5万t-CO	123.0万t-CO	120.6万t-CO	101万t-CO	88万t-CO
【参考】区域における エネルギー消費量	17,187 TJ	12,183 TJ	11,882 TJ	12,800 TJ	10,600 TJ
【参考】CO2排出量 (産業部門・民生部門)		産)17.3万t-CO 民)71.4万t-CO	産)16.8万t-CO 民)69.3万t-CO		

実績値は、オール東京62市区町村共同事業みどり東京温暖化防止プロジェクトにおいて調査、公表された数値をもとに算出している(公表された最新年度の数値は平成30年度分)。
 区民人口は、墨田区世帯人口現況から引用している(平成31年4月1日午前0時現在:272,861人)。



指標(2)	前年度実績値 2019年度 (R1)	最新年度実績値 2020年度 (R2)	中間目標値 2020年度 (R2)	最終目標値 2025年度 (R7)
太陽光発電システム、太陽熱利用システムの導入(墨田区地球温暖化防止設備導入助成制度)で削減できたCO2排出量(累計)	1,203t-CO	1,222t-CO	1,315t-CO	1,600t-CO
【参考】太陽光発電システム申請件数	12件	9件	/	
【参考】合計導入kW数	49.3kW	42.2kW		
【参考】太陽熱利用システム申請件数	0件	0件		
【参考】直管型LED照明機器の申請件数	29件	24件		
【参考】遮熱性塗装の申請件数	66件	57件		

【プロジェクトに対する実績・評価・次年度計画】

実績	
<p>【指標(1) 区民1人あたりの温室効果ガス排出量】 平成30年度の区民1人あたりの温室効果ガス排出量は、約4.4t-COとなり、前年度から約0.2t-CO減少した。</p> <p>【指標(2) 太陽光発電システム、太陽熱利用システムの導入で削減できたCO2排出量(累計)】 太陽光発電システムの導入により削減できたCO2排出量は、19.3t-COとなり、累計1,222t-COとなった。 太陽光発電システムの申請件数は9件で、前年度と比べて3件減少した。なお、太陽熱利用システムは前年度同様に申請はなかった。</p>	
評価	
<p>【指標(1) 区民1人あたりの温室効果ガス排出量】 平成30年度の区民1人あたりの温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量は、共に前年度から減少し、エネルギー消費量については、令和2年度の中間目標値も達成した。 なお、温室効果ガス排出量は二酸化炭素排出係数に影響を強く受けるものであり、エネルギー消費量を削減しても、温室効果ガス排出量については、その分だけ比例して削減できるわけではない。 しかし、本区は、民生(家庭・業務)部門からの排出量が全体の約6割を占めていることから、まずは、区民や事業者によるエネルギー消費量削減の取組を推進していくことで、温室効果ガス排出量の削減を図っていく。</p> <p>【指標(2) 太陽光発電システム、太陽熱利用システムの導入で削減できたCO2排出量(累計)】 太陽光発電システム設置にかかる助成制度への申請件数は、ほぼ横ばいである。制度開始当初より設備導入費用が低廉化しており、都の「東京ゼロエミ住宅導入促進事業」、「家庭における熱の有効利用促進事業」の補助事業が活用できるので、令和3年度末に太陽エネルギーを活用するこれらの設備についての助成制度を終了する。このことから、本プランの中間改定の際に、本指標を見直す必要がある。</p>	

進捗状況評価	(進捗状況評価区分)
B	A：順調に計画どおり進行している B：課題はあるもののほぼ順調に進行している C：課題が多く、目標達成には困難が予想される

今後の計画
2050年カーボンニュートラルを実現するためには、区民や事業者一人ひとりが、地球温暖化を自分事として更に認識し、区民・事業者・区が協働して行動していくことが必要となる。そのため、地球温暖化防止設備導入助成制度の見直し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した効果的な事業の見直し、国や都等と連携した新たな事業の検討及び実施をしていく。 環境にやさしい持続可能な“すみだ”を目指し、家庭や事業所における自主的な省エネルギー活動の底上げを図り、区域全体で地球温暖化対策を更に推進していく。



【 重点プロジェクト2 】 緑感あふれる空間の創造

【 プロジェクトの目的 】

まちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）による、まちなかの緑、緑のカーテン、建築物の屋上や壁面の立体緑化など、多彩な緑を区民・事業者・区等の連携により創出し、地域の緑感を高め、緑を身近に感じられる空間を創造していくことを目的とする。

【 プロジェクトの活動指標 】

指標	前年度実績値 2019年度 (R1)	最新年度実績値 2020年度 (R2)	中間目標値 2020年度 (R2)	最終目標値 2025年度 (R7)
まちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）の活動地域数	17地域	20地域	16地域	22地域
【参考】緑化指導により整備された緑地面積（申請件数）	11,622.15㎡ (133件)	10,479.08㎡ (164件)		
【参考】緑被率	10.7% ()	10.7% ()	12.20%	13.00%

10年に一度程度実施している「墨田区緑と生物の現況調査」による平成30年度の緑被率

【 プロジェクトに対する実績・評価・今後の計画 】

実績	
まちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）の活動地域数は、前年度と比べて3地域増加した。	
評価	
まちなか緑化は、前年度と比べて増加し、中間目標値も達成できた。 区民からは、まちなか緑化を実施したいという相談が引き続き寄せられており、当事業のニーズの高さを感じている。なお、既存地域については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、活動の継続に必要な支援を行っている。	
進捗状況評価	(進捗状況評価区分)
A	A：順調に計画どおり進行している B：課題はあるもののほぼ順調に進行している C：課題が多く、目標達成には困難が予想される
今後の計画	
緑感や、うれしいのあるまちづくりを目指し、既存地域の活動継続及び新規実施地域の募集を図りながら、引き続き、まちなか緑化を推進していく。	



【 重点プロジェクト3 】 ごみ減量化の推進

【 プロジェクトの目的 】

3Rの取組をさらに進展させるため、リサイクルよりも優先順位が高い、ごみの発生抑制（リデュース）と再利用（リユース）に重点を置き、より一層のごみの減量を図ることを目的とする。

【 プロジェクトの活動指標 】

指標	前年度実績値 2019年度 (R1)	最新年度実績値 2020年度 (R2)	中間目標値 2020年度 (R2)	最終目標値 2025年度 (R7)
区民1人1日あたりごみ排出量	544g	551g	520g以下	515g以下
【参考】ごみの発生量	76,989t	73,421t		
【参考】資源化率 (ごみの資源量)	18.9% (12,644t)	19.3% (13,277t)	23.0%以上	25.0%以上

【 プロジェクトに対する実績・評価・今後の計画 】

実績	
<p>区民1人1日あたりのごみ排出量は、551gとなり、前年度と比べて7g増加した。また、資源化率は、19.3%となり、前年度と比べて0.4%増加した。</p>	
評価	
<p>新型コロナウイルス感染症の流行もあり、年々減少傾向にあったごみ量（可燃、不燃）は増加に転じた。また、資源物としての回収量も増加した。 区民1人1日あたりごみ排出量については、前年度と比べて、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、全てのごみ量が増加したため、目標数値から遠ざかることとなった。 また、資源化率については、前年度と比べて、ごみ総量（可燃・不燃・粗大ごみ、資源物）に対する資源物の割合が上昇したため改善した。 令和2年の夏以降、例年並みのごみ排出量となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭ごみの増加要因があることから、中間目標の達成はできなかった。なお、コロナ禍においても、自転車海外リユース、羽毛ふとん回収、古着等イベント回収など、感染対策を万全にしながら実施し、一定の回収を得て、ごみ減量に寄与している。</p>	
進捗状況評価	(進捗状況評価区分)
C	A：順調に計画どおり進行している B：課題はあるもののほぼ順調に進行している C：課題が多く、目標達成には困難が予想される
今後の計画	
<p>令和3年4月に策定した墨田区一般廃棄物処理基本計画（第4次計画）では、不要物の発生そのものを減らすことを目的とし、3Rの中でも優先度の高い2Rの取組を中心とした施策を盛り込んでいる。 今後は、「ごみを出さないライフスタイル」、「ごみ減量につながるビジネススタイル」への転換を促し、更なる廃棄物の減量及び循環型社会の実現をめざしていく。</p>	

【 重点プロジェクト4 】 ヒートアイランド対策の推進



【 プロジェクトの目的 】

地表面や屋上の緑化、区道の遮熱・保水性舗装の拡大や、まちかどクールスポット設置の呼びかけなど、ヒートアイランド現象の緩和に向けた取組を推進し、都市部のヒートアイランド現象の緩和に寄与することを目的とする。

【 プロジェクトの活動指標 】

指標	前年度実績値 2019年度 (R1)	最新年度実績値 2020年度 (R2)	中間目標値 2020年度 (R2)	最終目標値 2025年度 (R7)
住宅・事業所が設置した緑のカーテンの面積	400㎡	445㎡	350㎡	420㎡
緑のカーテンモデル設置施設数	26施設	25施設	30施設	35施設
【参考】緑化指導により整備された緑地面積()	11,622.15㎡ (133件)	10,479.08㎡ (164件)		
【参考】遮熱性舗装施工面積累計(区道)	16,104㎡	16,104㎡		

緑化指導...墨田区開発指導要綱(墨田区良好な建築物と市街地の形成に関する指導要綱)及び集合住宅条例(墨田区集合住宅の建築に係る居住環境の整備及び管理に関する条例)に基づく指導。

【 プロジェクトに対する実績・評価・今後の計画 】

実績	
住宅・事業所が設置した緑のカーテンの面積は、445㎡となり、前年度と比べて45㎡増加した。また、緑のカーテンモデル設置施設数は、25施設となり、前年度と比べて1施設減少した。	
評価	
住宅・事業所が設置した緑のカーテンの面積は、増加傾向にあり、中間目標値だけでなく、最終目標値もすでに達成することができた。 ヒートアイランド現象の緩和につながる緑のカーテンの特性が周知されつつあるので、更なる普及に努めていく。	
進捗状況評価	(進捗状況評価区分)
A	A : 順調に計画どおり進行している B : 課題はあるもののほぼ順調に進行している C : 課題が多く、目標達成には困難が予想される
今後の計画	
緑のカーテンコンテストや緑のカーテン講習会の実施により、緑のカーテンの設置普及を進めていく。	

第二次すみだ環境の共創プラン 重点プロジェクト 進捗状況評価



【 重点プロジェクト5 】 環境体験学習の充実

【 プロジェクトの目的 】

環境体験学習の機会の充実を図り、区民の環境に関する理解の向上及び環境に配慮した行動を実践できる人材の育成を目的とする。

【 プロジェクトの活動指標 】

指標	前年度実績値 2019年度 (R1)	最新年度実績値 2020年度 (R2)	中間目標値 2020年度 (R2)	最終目標値 2025年度 (R7)
環境ボランティア(緑と花のサポーター・エコライフサポーター)登録者の実働割合()	67% (登録者 58名)	69% (登録者61名)	71%	75%
【参考】環境体験学習の参加者数				
・総合学習型 (夏休みプログラム、エコライフ講座)	490名	162名		
・テーマ別型 (水の循環講座、星空観察)	354名	204名		
・自然体験型 (自然観察、森林整備)	248名	168名		
・すみだ環境フェア	25,369名	(中止)		

本人申出による活動休止者を除く。

【 プロジェクトに対する実績・評価・今後の計画 】

実績	
<p>環境ボランティア登録者の実働割合は、69%となり、前年度と比べて2%増加した。なお、環境ボランティア登録者数は、緑と花のサポーターは46名で前年度から1名減少、エコライフサポーターは15名で前年度から4名増加した。エコライフ講座、水の循環講座、燃料電池自動車を活用した水素利用の普及啓発等の事業は実施できたが、夏休みすみだ環境プログラム、森林整備体験については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。</p>	
評価	
<p>環境ボランティア登録者の実働割合は、前年度と比べて増加したが、ほぼ横ばいとなっており、中間目標値を達成することはできなかった。なお、実働割合には、環境体験学習講座や環境フェアの参加者数等の実績を加味しているものであるが、例年、多くの区民が参加している環境体験学習は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業の中止及び事業規模を縮小したことによる参加者数の減少も要因となっている。</p>	
進捗状況評価	(進捗状況評価区分)
B	<p>A：順調に計画どおり進行している B：課題はあるもののほぼ順調に進行している C：課題が多く、目標達成には困難が予想される</p>
今後の計画	
<p>環境ボランティア登録者の実働率を指標として設定しているが、本来はボランティアの絶対数を増やしていくことが重要であり、ボランティア数を増やす施策により一層取り組んでいく必要がある。そこで、共創プランの中間改定では、本指標の見直しを行うこととする。実働率の視点については、今後も定期的な評価を継続して行っていく。今後とも、新型コロナウイルス感染防止策を徹底した上で、参加体験型で、環境問題を自分事として身近に感じ、実践につなげやすい内容とするなど、多くの参加者かつ環境活動を実践する人が増えるような工夫をしながら実施していく。</p>	

基本目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第二次すみだ環境の共創プラン 基本目標 進捗状況評価

【 基本目標 1 】

温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまち

【墨田区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）】

令和 12 年度（2030 年度）までに 平成 12 年度（2000 年度）比で 区内の温室効果ガス排出量を 30%程度 削減する エネルギー消費量を 38%程度 削減する

【 個別目標 】

- 1 - 1 オールすみだで省エネルギー行動を実践する
- 1 - 2 再生可能エネルギーの導入を推進する
- 1 - 3 まち全体でエネルギー利用の効率化を推進する

【 環境事業指標 】

指 標	基準値 (H12)	前年度 実績値 (H29)	最新年度 実績値 (H30)	中間 目標値 (R2)	最終 目標値 (R12)
区域における 温室効果ガス排出量 (万 t -CO ₂)	126.5	123.0	120.6	101.0	88.0
区域における エネルギー消費量 (TJ)	17,187	12,183	11,882	12,800	10,600

実績値はオール東京 62 市区町村共同事業みどり東京温暖化防止プロジェクトにおいて調査、公表された数値(直近は平成 30 年度分)をもとに算出している。

【 平成 30 年度実績 最新年度実績 】

平成 30 年度の区域における温室効果ガス排出量は、120.6 万 t -CO となり、前年度（平成 29 年度）に比べて、2.4 万 t -CO 減少した。

また、平成 30 年度の区域におけるエネルギー消費量は、11,882TJ となり、前年度（平成 29 年度）に比べて、301TJ 減少した。

【 平成 30 年度評価 最新年度実績の評価 】

温室効果ガス排出量は二酸化炭素排出係数に影響を強く受けるものであり、エネルギー消費量を削減しても、温室効果ガス排出量については、その分だけ比例して削減できるわけではない。

しかし、本区は、民生（家庭・業務）部門からの排出量が全体の約 6 割を占めていることから、

まずは、区民や事業者によるエネルギー消費量削減の取組を推進していくことで、温室効果ガス排出量の削減を図っていく。

【 今後の計画 】

2050年カーボンニュートラルを実現するためには、区民や事業者一人ひとりが、地球温暖化を自分事として更に認識し、区民・事業者・区が協働して行動していくことが必要となる。そのため、地球温暖化防止設備導入助成制度の見直し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した効果的な事業の見直し、国や都等と連携した新たな事業の検討及び実施をしていく。

環境にやさしい持続可能な“すみだ”を目指し、家庭や事業所における自主的な省エネルギー活動の底上げを図り、区域全体で地球温暖化対策を更に推進していく。

なお、令和3年度中に、第二次すみだ環境の共創プランの中間改定を予定しているが、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、2030年度の、区内の温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の削減目標についても見直しを行う。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 1 - 1】オールすみだで省エネルギー行動を実践する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
家庭における省エネルギー対策の推進	墨田区地球温暖化対策に関する普及・啓発	環境保全課	すみだ環境フェアは新型コロナウイルスの影響により中止としたが、その他各種イベントで啓発を行った。	継続 (理由)	ゼロカーボンシティの実現のため、環境啓発を強化していく。
	地球温暖化に関する企画展示の実施	環境保全課	すみだ環境フェアは新型コロナウイルスの影響により中止としたが、その他各種イベントで啓発を行った。	継続 (理由)	ゼロカーボンシティの実現のため、環境啓発を強化していく。
	すみだエコポイント事業の推進			(廃止)	
	環境家計簿の普及	環境保全課	区のホームページで広報した。	継続 (理由)	一部内容を見直し、区のホームページで広報を行う。
	エネルギーの見える化の促進			(廃止)	
	省エネ診断事業の取組の支援	環境保全課	省エネ診断の取組について、区民から依頼がなかった。	継続 (理由)	引き続き、窓口でのチラシ配布等PRに努め、支援事業を行う。
	集合住宅(共用部分)の省エネルギー化に関する普及・啓発	環境保全課	【地球温暖化防止設備導入助成制度 実績】 ・直管型LED照明器具 16件(全体24件) ・遮熱塗装 2件(全体57件) ・建築物断熱改修 0件(全体15件)	継続 (理由)	引き続き、地球温暖化防止設備導入助成制度の補助メニューとして実施する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
事業所における省エネルギー対策の推進	省エネ診断事業・エコチューニングへの取組の支援	環境保全課	事業者から省エネ診断事業・エコチューニングへの取組の支援についての依頼はなかった。	継続 (理由)	引き続き窓口でのチラシ配布等PRに努め、支援事業を行う。
	環境マネジメントシステムの導入支援	環境保全課	環境経営認証取得費助成制度 ・グリーンプリンティング1件	継続 (理由)	引き続き、導入支援事業を行う。
公共施設における省エネルギー対策の推進	墨田区地球温暖化対策実行計画(区事務事業編)の推進	環境保全課	墨田区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)第5次計画)の推進を図った。 ・令和元年度における区立施設等のCO2排出量21,886t-CO2(前年度比約91.4%) 令和2年度実績値については集計中	拡充 (理由) ゼロカーボンシティの実現に向け更なる推進を図る必要がある。	ゼロカーボンシティの実現に向け、本計画の更なる推進を図り、区の事務事業から排出される温室効果ガス排出量の更なる削減を目指す。
	フィフティ・フィフティプログラムの推進	(廃止)			
	エコチューニングの推進	(別紙のとおり)			
	庁舎リフレッシュ計画の推進	総務課	トイレ改修で便器交換を行い節水に努める。	継続 (理由) 更新工事が完了していない。	エレベーターを新規とし省エネ化を図る。
道路照明灯・公園灯のLED化	道路公園課	道路照明灯、公園灯のデザイン灯について、LED化を図った。	継続 (理由)	引き続き、道路照明灯・公園灯のデザイン灯のLED化を行う。	

エコチューニングの推進（令和2年度実績）

照明設備（主な取組）
・ 不要な電気の消灯（昼休みや業務終了後の時間帯、採光利用、人感センサー導入）
・ 影響が少ない範囲で蛍光灯を取り除く
・ LEDに切替え
・ スマートメーター（電気使用量を表示する機械）の導入
空調設備（主な取組）
・ クールビズやウォームビズの徹底、サーキュレータの併用等による適正な温度調節
・ フィルターの定期清掃
・ 既存設備を省エネ性能が高いものに更新
・ 適宜、温度調整や運転回数等の確認、見直しの実施
その他（主な取組）
・ パソコンの省エネ設定、一定時間使用しない場合には電源オフ
・ 業務終了後には原則事務用機器停止
・ 雨水タンク（天水尊）設置、活用
・ POP掲示等による注意喚起
・ グリーンカーテンの設置、屋上緑化
・ 打ち水の実施
・ 自動販売機の休日・夜間照明停止
・ 不要な機器のコンセントを外す
・ 再生可能エネルギー100%の電気を使用（ビル全体）

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 1 - 2】再生可能エネルギーの導入を推進する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギーの普及・啓発	環境保全課	すみだ環境フェアは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたが、エコライフ講座等で啓発を行った。	継続 (理由)	すみだ環境フェア2021等各種イベントにおいて啓発を行う。
	エコスクールの推進	庶務課	該当無し	継続 (理由)	計画校無し 学校施設の新築及び改修を行う際は、引き続き再生可能エネルギーの導入について検討する。
	カーボンオフセット事業の検討	環境保全課	すみだ環境フェア2020は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。	継続 (理由)	すみだ環境フェア2021においてグリーン電力証書を購入する。
	エコ住宅に関する情報提供	環境保全課	すみだ環境フェアは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたが、エコライフ講座実施の際に情報提供を行った。	継続 (理由)	すみだ環境フェア2021等各種イベントにおいて啓発を行う。
区民・事業者への支援	太陽光発電・太陽熱利用システム導入の推進(地球温暖化防止設備導入助成制度の推進)	環境保全課	・太陽光発電システム 9件 ・太陽熱利用システム 0件	廃止 (理由) 制度開始当初より廉価で設備導入できるようになり、導入起爆剤としての当初目的を達成したため。	東京都が実施している太陽光発電システム導入初期費用ゼロ等、国・都が実施している補助制度等を情報提供する。
	省エネ機器普及支援事業の検討・推進	環境保全課	・空調機器 1件 ・照明機器 9件	縮小 (理由) 制度開始当初より廉価で設備導入できるようになるとともに、助成実績が少ないため。	東京都が実施している無料省エネ診断及び助成制度を情報提供する。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 1 - 3】まち全体でエネルギー利用の効率化を推進する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
省エネルギー化に配慮した建物・設備への転換の促進	パンフレット「(仮)エコ建築のすすめ」を活用した家庭や事業所からの排熱の抑制、省エネ配慮についての普及・啓発	環境保全課	省エネ関連パンフレット類を環境保全課窓口で配備し、区民等へ配布した。	継続 (理由)	環境保全課の窓口で配布する。
	建築物の断熱施工の推進(地球温暖化防止設備導入助成制度の推進)	環境保全課	建築物断熱改修 15 件	継続 (理由)	引き続き、地球温暖化防止設備導入助成制度の補助メニューとして実施する。
	大規模開発における地域冷暖房等の導入促進	環境保全課	令和2年度は大規模開発がなかった。	継続 (理由)	大規模開発の計画があった場合は、地域冷暖房の導入に向けた協議等を行う。
環境負荷の少ない交通手段の利用促進	公共交通機関の積極的な利用の普及・啓発	環境保全課	すみだ環境フェアは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたが、グリーンすみだなどを活用して普及啓発した。	継続 (理由)	すみだ環境フェア2021等イベント実施の際に普及啓発する。
	船着場の整備と水上交通の普及	都市整備課	令和2年度の吾妻橋船着場の使用実績として約1,100回の旅客船等の利用があった。北十間川に小梅橋船着場を整備した。令和3年3月から、観光課が舟運社会実験をしている。	継続 (理由)	令和2年度に完成した小梅橋船着場や、両国リバーセンター事業で小型船舶用船着場が完成した両国船着場と連携を図り、引き続き船着場利用の促進に努める。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境負荷の少ない交通手段の利用促進	次世代自動車の普及・啓発	環境保全課	燃料電池自動車について、各種イベントの中止等により展示活動は出来なかったが、日常業務等で積極的に使用し、啓発に努めた。	継続 (理由) 水素社会の実現に向け、より一層の活用方策を検討する。	引き続き、各種イベント等において、燃料電池自動車と外部給電器を併せた展示により、普及・啓発を行う。
	アイドリングストップなどエコドライブの普及・啓発	環境保全課	すみだ環境フェア2020は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたが、グリーンすみだなどを活用して普及啓発した。	継続 (理由)	すみだ環境フェア2021等イベント実施の際に普及啓発する。
	歩道と車道の分離のための道づくりなどの交通環境の整備	道路公園課	小梅通りのバリアフリー整備工事を行った。	継続 (理由)	小梅通り、曳舟川通りのバリアフリー整備工事を行う。
	自転車利用の啓発	環境保全課	すみだ環境フェア2020は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたが、グリーンすみだなどを活用して普及啓発した。	継続 (理由)	すみだ環境フェア2021等イベント実施の際に普及啓発する。
	自転車専用レーンの整備	道路公園課	区役所通りで自転車専用レーンの整備に向けた現況測量・実施設計を行った。	継続 (理由)	令和3年度は工事計画なし。
水素社会の取組の実現に向けた	水素社会の実現に向けた基盤整備の検討	環境保全課	各種イベントの中止等に伴い、燃料電池自動車と併せた展示・実演を行うことが出来なかった。	継続 (理由)	燃料電池自動車と外部給電器を一緒に活用し、各種イベントにて水素社会に関する普及・啓発を行う。 また、より積極的に燃料電池自動車を稼働させることで、区民への認知度を高めていく。

第二次すみだ環境の共創プラン 基本目標 進捗状況評価

【 基本目標 2 】

身近な緑と水辺に親しみ、生きものとふれあえるまち

【 個別目標 】

- 2 - 1 緑感（りょくかん）を向上する
- 2 - 2 水と緑の空間を整備する
- 2 - 3 生物多様性に関する理解を深める

【 環境事業指標 】

指 標	前年度実績値 (R1)	最新年度実績値 (R2)	中間目標値 (R2)	最終目標値 (R7)
緑被率	10.7% ()	10.7% ()	12.2%	13.0%
まちなか緑化(緑と花の まちづくり推進地域制 度) の活動地域数	17 地域	20 地域	16 地域	22 地域

10年に一度程度実施している「墨田区緑と生物の現況調査」による平成30年度の緑被率

【 令和2年度実績 】

「墨田区良好な建築物と市街地の形成に関する指導要綱(以下、「開発指導要綱」という。)」、「墨田区集合住宅の建築に係る居住環境の整備及び管理に関する条例」に基づく緑化指導により、地上部で7,607.04㎡、建築物上で2,872.04㎡の緑地が整備された。

まちなか緑化の活動地域は、20地域となり、前年度と比べて3地域増加した。

【 令和2年度評価 】

引き続き、開発指導要綱等に基づく緑化指導を継続し、緑地整備を進めていく。

まちなか緑化の活動地域数は、前年度から増加し、中間目標値も達成した。区内における緑感は、緩やかではあるが着実に向上しているものと考えられる。

【 今後の計画 】

公園・公共施設の新設や改修工事及び都市計画に基づくまちづくりの際には緑地(地上部、屋上・壁面緑化)の整備を進めていくとともに、民間事業者に対しては、開発指導要綱等に基づく緑化指導による緑地の整備を引き続き働きかけていく。

まちなか緑化については、広報等を通じてまちづくり公社等の関係機関の協力を得ながら、新規活動地域の募集を進めるとともに、既存地域に対しては、活動定着のために各地域の実情に応じた支援内容を検討していく。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 2 - 1】緑感を向上する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
地域緑化及び多様な緑化の推進	まちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）による緑と花のネットワークづくりの推進	環境保全課	実施地区が17地区から20地区に増加した。	継続 (理由)	緑感やうるおいのあるまちづくりを目指し、既存地域の活動継続及び新規実施地域の募集を図りながら、引き続きまちなか緑化を推進していく。
	ハンギングバスケットによる緑感の向上	環境保全課	・ハンギングバスケット講習会の実施 区民対象：3回 34人参加	継続 (理由)	区民を対象とした講習会を実施する。
	緑と花の学習園の機能充実	環境保全課	来園者：8,170人 緑化相談・指導：59件 緑化PRイベント実績 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	継続 (理由)	・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、区民や緑と花のサポーターを対象とした緑化講習会等を開催する。
	立体緑化（屋上及び壁面緑化）の推進	環境保全課	屋上緑化 ・屋上等緑化整備補助金：0件 0㎡ ・屋上緑化調査件数：2件 ・安全点検件数：0件 ・「学校の環境施設維持補修計画（平成29年3月環境保全課策定、令和2年3月改訂）」に基づく学校屋上緑化補修工事 中学校1校（桜堤中） 壁面緑化 ・助成件数：0件 0㎡ ・壁面緑化維持管理支援小学校2校（錦糸小、業平小）	継続 (理由)	屋上緑化 ・「学校の環境施設維持補修計画（平成29年3月環境保全課策定、令和3年3月改訂）」に基づく学校屋上緑化補修工事 中学校1校（文花中） 壁面緑化 ・壁面緑化維持管理支援小学校2校（錦糸小、業平小）

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
地域緑化及び多様な緑化の推進	緑のへの設置奨励	環境保全課	・緑のへの設置補助金 生け垣：2件 24.28m 植樹帯：3件 9.49m ² ブロック塀取り壊し：0件 0m	継続 (理由)	緑のへの増設を図るため、助成制度のPRに力を入れる。
	緑のカーテンの普及	環境保全課	・緑のカーテンづくり講習会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・緑のカーテンモデルの設置：25施設 庁舎、児童館4館、保育園11園、幼稚園1園、コミュニティ会館2館、その他6施設 ・緑のカーテンコンテスト 家庭部門：11件 団体部門：25件 伝説部門：1件	継続 (理由)	区民を対象とした緑のカーテン講習会やコンテストの実施、公共施設の緑のカーテンモデルの設置により、緑のカーテンの普及・啓発を行う。
	一定規模以上の建設事業に対する緑化指導	環境保全課	・緑化指導件数164件 うち、建築物上の緑化指導件数：59件 ・緑化面積 地上部：7,607.04m ² 建築物上：2,872.04m ²	継続 (理由)	「集合住宅条例」及び「開発指導要綱」に基づく緑化指導を進める。
	在来植物の保全・保護	環境保全課	・在来植物講習会（大輪朝顔の育て方講習会） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	継続 (理由)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とする。
	エコポケット（小さな自然空間）の創出	環境保全課	「学校の環境施設維持補修計画（平成29年3月環境保全課策定、令和2年3月改訂）」に基づく学校ビオトープ補修工事 小学校2校（押上小、梅若小）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。	継続 (理由)	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、令和3年度の予定について実施可能か検討する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
公共施設等の緑化の推進	自転車・歩行者通行空間再整備事業(旧すみだ花の道整備事業)の推進	道路公園課	区役所通りで自転車専用レーンの整備に向けた現況測量・実施設計を行った。	継続 (理由)	令和3年度は工事計画なし
	道路や公共施設等における緑化の推進	道路公園課 環境保全課	【道路公園課】 道路、公園の改修工事にあわせて、樹木の植え替えを実施した。 【環境保全課】 屋上緑化 ・「学校の環境施設維持補修計画(平成29年3月環境保全課策定、令和2年3月改訂)」に基づく学校屋上緑化補修工事中学校1校(桜堤中) 壁面緑化 ・壁面緑化維持管理支援小学校2校(錦糸小、業平小)	継続 (理由)	【道路公園課】 引き続き、道路、公園の改修工事にあわせて、樹木の植え替えを実施する。 【環境保全課】 屋上緑化 ・「学校の環境施設維持補修計画(平成29年3月環境保全課策定、令和3年3月改訂)」に基づく学校屋上緑化補修工事中学校1校(文花中) 壁面緑化 ・壁面緑化維持管理支援小学校2校(錦糸小、業平小)
緑の保全	特別保全樹木助成制度の推進	環境保全課	・「樹木診断」経費の補助新設。 ・助成件数：6件 16本 159m 樹木：5件16本 生け垣：1件159m ・指定状況：30か所 159本 189m 樹木：29か所159本 生け垣：2か所189m 樹木及び生け垣の両方を指定している施設が1か所あるため	継続 (理由)	・特別保全樹木を良好な状態に保つため、制度の利用促進を図る。
	森林整備体験事業等の推進	環境保全課	・植林体験 ・林業機械操縦体験 ・間伐体験 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	継続 (理由)	植林、林業機械操縦体験は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とする。 間伐体験において区民が森林について学べる機会を提供し、緑を守り育てる意識を啓発予定。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 2 - 2】水と緑の空間を整備する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
公園の整備	公園の新設・再整備	都市整備課 道路公園課	<p>【都市整備課】 あずま百樹園再整備基本設計、隅田川緑道公園拡張整備実施設計、東向島北公園拡幅整備用地の取得・拡幅工事を実施した。</p> <p>【道路公園課】 ・かしわ児童遊園再整備の実施設計を行った。</p>	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<p>【都市整備課】 あずま百樹園整備に係る実施設計を行う。</p> <p>【道路公園課】 ・かしわ児童遊園の再整備工事を実施する。 ・なつめ公園、両国第一児童遊園の実施設計を行う。</p>
	錦糸公園・旧安田庭園・旧中川水辺公園・隅田公園の整備	都市整備課 道路公園課	<p>【都市整備課】 隅田公園では、北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業の一環で、平成30年度、令和元年度の2か年で南側一部範囲を再整備した。 また、南側一部再整備に引き続き、言問通り周辺までの範囲について、次期再整備に向けた基本計画の策定を行った。</p> <p>【道路公園課】 ・錦糸公園では、園路及び遊具を改修した。 ・旧安田庭園では、園路改修及び植栽整備を実施した。 ・旧中川水辺公園では、平成29年度から実施している夜間の安全対策としてのフットライトの設置を行った。</p>	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<p>【都市整備課】 隅田公園について、令和2年度に実施した基本計画に基づく基本設計を行うほか、民間活力導入に向けたヒアリング調査を行う。</p> <p>【道路公園課】 ・錦糸公園の園路改修を継続して行う。 ・旧安田庭園の園路改修、植栽整備を行う。 ・旧中川水辺公園へのフットライト設置を継続して行う。</p>

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
親水空間の整備	親水公園の整備 (大横川親水公園・豎川親水公園)	道路公園課	<ul style="list-style-type: none"> ・大横川親水公園における北十間川から平川橋跡間のにぎわい創出に向けた検討の中で、民間活力の導入に向けた市場サウンディング調査を実施した。 ・豎川親水公園にボール遊び広場を新設した。 	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	大横川親水公園における民間活力の導入について、市場サウンディング調査結果を踏まえ、諸課題の解決に向けた検討を行う。
	北十間川水辺活用構想に基づく水辺の整備	都市整備課	北十間川の源森橋～小梅橋間(北側)の親水テラス整備が完了した。	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	北十間川の源森橋～小梅橋間(南側)の親水テラスを令和3年度、令和4年度の2か年で整備する。
	河川整備における自然環境の再生	都市整備課 道路公園課	<p>【都市整備課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定無し <p>【道路公園課】</p> <p>旧中川水辺公園において、中川桜愛護会との協働で桜や花壇の管理を行い、自然環境の維持に努めた。</p>	<p>継続</p> <p>(理由)</p> <p>都市整備課においては、事業計画見直しのため廃止とする。</p>	<p>【都市整備課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定無し <p>【道路公園課】</p> <p>引き続き、旧中川水辺公園において、中川桜愛護会との協働で桜や花壇の管理を行い、自然環境の維持に努めていく。</p>

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 2 - 3】生物多様性に関する理解を深める

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
生物多様性の保全に向けた啓発	自然の実態把握	環境保全課	実績なし	継続 (理由)	前回、平成30年度に実施した「緑と生物の現況調査」は、10年に一度実施している。
	生物多様性地域戦略の策定検討	環境保全課	「生物多様性地域戦略」骨子の策定	継続 (理由)	「第二次墨田区緑の基本計画」の策定と合わせて、令和元年度～令和3年度の3箇年かけて策定予定。
	生物多様性の保全に係る周知・啓発の促進	環境保全課	・すみだ自然観察会 区内観察会：5回延べ69人参加 ・大人のための自然観察会：全5回 受講者53人（延べ99人）	継続 (理由)	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、生きものについての普及啓発に努める。
自然とふれあう場と機械の創出	荒川自然生態園の整備	都市整備課	自然地において、不法占有者に対して不法占有に対する警告及び自立支援の案内を行った。	廃止 (理由) 事業計画見直しのため廃止とする。	国による自然地の適正管理がなされるよう、区も協力して不法占有者に対して不法占有に対する警告及び自立支援の案内を行うが、自然生態園の整備は廃止する。
	ヤゴ救出作戦・トンボフェアの実施	環境保全課	・小学校プールのヤゴ救出作戦 新型コロナウイルス感染拡大防止のため各校独自実施とした。 ・小学校プールのヤゴ生息作戦：10校 ・すみだ環境フェア「トンボフェア」 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	継続 (理由)	・小学生を対象に、環境学習（ヤゴの救出及び生育）の機会を提供する。 ・すみだ環境フェア「トンボフェア」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とする。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
自然とふれあう場と機械の創出	ビオトープの整備	環境保全課	「学校の環境施設維持補修計画（平成29年3月環境保全課策定、令和2年3月改訂）」に基づく学校ビオトープ補修工事 小学校2校（押上小、梅若小）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期した。	継続 (理由)	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、生きものについての普及啓発に努める。
	自然環境観察員養成講座の開催	環境保全課	「大人のためのすみだ自然観察会」を開催。 全5回 受講者53人 (延べ99人)	継続 (理由)	・「大人のためのすみだ自然観察会」を開催。 自然環境の保全に主体的な人材を育成するとともに、これまでの講座修了者やすみだ自然環境サポーターのステップアップを図る。
	緑と花のサポーター制度の推進	環境保全課	・サポーター登録人数：46人 ・活動実績：116回 延べ985人 (内訳) 総会、定例会：4回 延べ20人 定例活動：54回 延べ768人 定例外活動：56回 延べ185人 講習会：2回 延べ12人	継続 (理由)	・「緑と花のまちづくり推進地域」等の維持管理支援 ・区が主催する講習会、イベント等のサポート ・サポーター向け講習会及び見学会を実施して、技術や知識の向上を図る。 ・新規のサポーター登録者を増やすため、「緑化ボランティア体験会」を実施予定

第二次すみだ環境の共創プラン 基本目標 進捗状況評価

【 基本目標3 】

資源循環型社会の実現を目指すまち

【 個別目標 】

- 3 - 1 ごみの発生抑制と有効利用を促進する
- 3 - 2 廃棄物の適正処理を推進する
- 3 - 3 雨水を有効活用する

【 環境事業指標 】

指 標	前年度実績値 (R1)	最新年度実績値 (R2)	中間目標値 (R2)	最終目標値 (R7)
資源化率	18.9%	19.3%	23.0%以上	25.0%以上
雨水総貯留容量	25,003 m ³	25,490 m ³	26,300 m ³	30,000 m ³

【 令和2年度実績 】

資源化率は 19.3%となり、前年度と比べて 0.4%増加した。

雨水総貯留容量は、25,490 m³となり、前年度と比べて 487 m³増加した。

【 令和2年度評価 】

資源化率は、前年度と比べて、ごみ総量(可燃・不燃・粗大ごみ、資源物)に対する資源物の割合が上昇したため改善した。

雨水総貯留容量は、雨水利用助成制度の利用と墨田区開発指導要綱(墨田区良好な建築物と市街地の形成に関する指導要綱)及び墨田区集合住宅条例(墨田区集合住宅の建築に係る居住環境の整備及び管理に関する条例)による雨水貯留槽設置の指導により、前年度と比べて増加したが、中間目標値を達成することはできなかった。

【 今後の計画 】

令和3年4月に策定した墨田区一般廃棄物処理基本計画(第4次計画)では、不要物の発生そのものを減らすことを目的とし、3R の中でも優先度の高い2R の取組を中心とした施策を盛り込んでいる。今後は、「ごみを出さないライフスタイル」、「ごみ減量につながるビジネススタイル」への転換を促し、更なる廃棄物の減量及び循環型社会の実現をめざしていく。

雨水の有効活用については、雨水先進自治体として、「都市型洪水の防災対策・地域水循環の再生」の課題解決のため、更なる雨水利用の推進を図り、都市のミニダム機能の強化をめざしていく。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 3 - 1】ごみの発生抑制と有効利用を促進する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
ごみの発生抑制を中心とする3Rの推進	ごみ減量とリサイクルに関する情報提供	すみだ清掃事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物とごみの分け方・出し方パンフレットの作成・配布（作成部数1,500部） ・資源物・ごみの収集日カレンダーの作成・配布（作成部数 101,500部） ・各種イベントでのごみ減量とリサイクルに関するパンフレット・チラシ等の配布 	継続 （理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物とごみの分け方・出し方パンフレットの作成・配布（作成部数1,500部） ・資源物・ごみの収集日カレンダーの作成・配布（作成部数 100,500部）
	外国語広報の充実	すみだ清掃事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物とごみの分け方・出し方パンフレットの中国語版・韓国語版・英語版を随時配布 ・集積所看板に中国語・韓国語・英語の表記を追加 	継続 （理由）	前年どおり実施していく。
	生ごみのリサイクルの推進	すみだ清掃事務所	「食育フェス」等のイベントで生ごみ減量についてパネル展示での啓発を行った。	継続 （理由）	前年どおり実施していく。
	「マイバッグ運動」の推進	すみだ清掃事務所	レジ袋の使用量を削減するため、ホームページ等において「マイバッグの使用」についてPRを行った。	継続 （理由）	イベント等でのPRを実施する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
適正なりサイクル・清掃事業の運営	小規模事務所リサイクルシステム(エコッチャ)の促進	すみだ清掃事務所	R団連すみだリサイクル協同組合が行っている、事業系資源物のリサイクルについてPRを行った。	継続 (理由)	前年どおり実施していく。
	資源回収事業の推進	すみだ清掃事務所	回収量実績 ・古紙 4,312,690kg ・びん 2,508,360kg ・缶 658,955kg ・ペットボトル 1,250,350kg ・トレー 35,542kg	継続 (理由)	回収量計画 ・古紙 4,169,000kg ・びん 2,635,000kg ・缶 682,000kg ・ペットボトル 1,271,000kg ・トレー 37,510kg
	集団資源回収への支援	すみだ清掃事務所	登録団体：411団体 資源回収量：4,333,111kg 報奨金支給額：26,632,440円 <前年度：30,266,986円> > リサイクルルート維持費：11,047,530円 <前年度：5,686,655円> >	継続 (理由)	前年どおり実施していく。
	リサイクルブック事業の実施	ひきふね図書館	図書館・図書室内にリサイクル図書コーナーを常設し、年間を通して、多くの利用者に提供した。 令和2年度提供冊数 48,927冊	継続 (理由)	新型コロナウイルス感染予防措置を適切に行いながら、実施していく。
リサイクル清掃地域推進委員制度の推進	すみだ清掃事務所	第10期委員の委嘱(120名) リサイクル関連施設等の見学会(中止) 年末不法投棄防止パトロール(中止)	継続 (理由)	・リサイクル関連施設等の見学会 ・年末不法投棄防止パトロールの実施	

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
適正なりサイクル・清掃事業の運営	分別排出の徹底	すみだ清掃事務所	分別不徹底や有料ごみ処理券の未貼付については、取り残し、指導強化等により適正排出化を図っている。	継続 (理由)	前年どおり実施していく。
	事業者の適正処理の指導及び自主的な取組の促進	すみだ清掃事務所	地域に根ざした相談・広報活動を実施し、分別不徹底、有料ごみ処理券の未貼付等指導班による排出指導を行っている。	継続 (理由)	前年どおり実施していく。
	一般廃棄物処理業の許可及び指導	すみだ清掃事務所	1 申請件数 新規許可件数 3件 更新許可件数 122件 変更許可・再交付件数 0件 2 立入検査 14件(協議会同行を含む。) 平成25年度から一廃処理業の許可手続事務は清掃協議会に一部移管された。一廃処理業者に対しての行政指導・行政処分等は引き続き区が行う。	継続 (理由)	前年どおり実施していく。
	リサイクル・清掃事業の効率化	すみだ清掃事務所	2課に分かれていた事業組織(リサイクル清掃課・すみだ清掃事務所)を一元化して、効果的かつ効率的な事業遂行を図るため、平成23年5月に、現・すみだ清掃事務所に統合した。	継続 (理由)	組織の見直しがない限り現行とおり

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
適正なりサイクル・清掃事業の運営	情報公開の推進	すみだ清掃事務所	情報公開請求件数 0件	継続 (理由)	透明性のある行政運営のため、情報公開請求があった場合、適正に対応していく。
	リサイクル・清掃事業の継続性の確保	すみだ清掃事務所	墨田区一般廃棄物処理基本計画(第4次計画:令和3年度~12年度)を令和元年度の基礎調査を基に策定した。	継続 (理由)	第4次計画に沿って、3Rの中でも2Rの推進を中心とした事業(3R推進・清掃事業)を展開する。
	災害時における廃棄物処理対策の整備	すみだ清掃事務所	令和2年6月に「墨田区災害廃棄物処理計画」を策定した。	継続 (理由)	「墨田区災害廃棄物処理計画」策定後も、引き続き、災害廃棄物処理に関する課題について検討する。
	環境負担の少ない収集・運搬車両の導入	すみだ清掃事務所	環境負荷の少ない圧縮天然ガス(CNG)を燃料としたごみ収集運搬車両(小型プレス車)を引き続き使用した。	継続 (理由)	圧縮天然ガスを燃料としたごみ収集運搬車両を引き続き使用する。
	サーマルリサイクルの継続推進	すみだ清掃事務所	平成17年10月14日特別区長会総会決定に基づき、平成20年度から実施している。	継続 (理由)	引き続きサーマルリサイクルを実施していく。また、プラごみリサイクルの調査検討を行う。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 3 - 2】廃棄物の適正処理を推進する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境美化に向けた取組の推進	クリーンキャンペーンの実施	すみだ清掃事務所	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	継続 (理由)	区内一斉清掃活動を通じて、区民が自主的に「地域にやさしいまちづくり」を進めるよう啓発できる機会となるため、継続的に実施していく。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。
	路上喫煙防止対策の推進	地域活動推進課	・啓発指導員によるパトロールの実施（5推進地区）（啓発指導件数：2,937件） ・路上喫煙禁止表示ブロックを設置した。（錦糸町駅周辺地区15基、両国駅周辺地区8基、吾妻橋地区1か所）	継続 (理由) 啓発指導件数は前年度に比べ減少しているものの、令和2年度の路上喫煙等に関する苦情は増加傾向にあるため、引き続き喫煙者のマナー向上に努めていく必要がある。	国や都の動向を注視する他、他区の取り組みや事業者等からの情報収集を行い、引き続きマナーアップの強化に努める。
監視・指導の推進	不法投棄防止対策の推進	すみだ清掃事務所	委託業者による早朝パトロール、不法投棄禁止看板等の設置を行ったほか、集積所から3,803個の不法投棄を確認した。	継続 (理由)	前年どおり実施するほか、12月頃、各町会に「不法投棄物」の発見と報告を依頼する。
監視・指導の推進	資源物持ち去り防止対策の推進	すみだ清掃事務所	持ち去り防止パトロールの実施 早朝パトロール（委託業者による） 午前7時半～8時（日曜を除く毎日） 職員パトロール 午前7時半～10時半（年間298回実施：口頭注意314件・警告0件・禁止命令0件）	継続 (理由)	持ち去り防止パトロールの実施 早朝パトロール（委託業者による） 午前7時半～8時（日曜を除く毎日） 職員パトロール 午前7時半～10時半

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 3 - 3】雨水を有効活用する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
雨水利用の啓発・普及の推進	雨水利用の啓発・情報発信	環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェア、防災フェア、総合防災訓練、打ち水イベントは中止した。 ・「すみだ打ち水推進月間」において、雨水を利用した打ち水について普及啓発を行った。 打ち水イベント：0回 地域における打ち水：3団体32名 合計 参加人数：32名 ・区報やホームページ等に雨水利用の説明記事や、雨水タンク助成制度の記事を掲載した。 	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間を「2021すみだ打ち水推進月間」と定め、「お家de打ち水」や「一斉打ち水デー」を広報することにより、雨水や二次利用水の効果的な利用普及を促す。 ・打ち水推進月間においては、打ち水に使用するバケツやひしゃくの貸出しと環境局提供の「手ぬぐい」の進呈を行う。 ・区報やホームページ等にわかりやすい記事を掲載することにより、自発的な雨水利用の意義や雨水タンク助成制度の周知を行う。
	雨水利用促進助成及び雨水の貯留・浸透指導	環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水利用促進助成制度申請件数：3件 ・集合住宅条例及び開発指導要綱による雨水の貯留・浸透指導件数：161件 	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<p>雨水利用促進助成制度については、引き続き周知を行っていく。また、集合住宅条例及び開発指導要綱による雨水の貯留・浸透指導については、引き続き個々の案件に応じて適切に指導していく。</p>
広域連携の推進	雨水利用ネットワーク事業の推進	環境保全課	<p>雨水ネットワーク全国大会2020は中止となったが、雨水利用視察対応は7件行った。</p>	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<p>雨水ネットワーク全国大会2021が開催された場合は、情報共有・意見交換等を行う。</p>

第二次すみだ環境の共創プラン 基本目標 進捗状況評価

【 基本目標4 】

良好な生活環境が確保され、安心とやすらぎが実感できる住みよいまち

【 個別目標 】

- 4 - 1 安全安心を実感できるまちをつくる
- 4 - 2 気候変動に適応したまちをつくる
- 4 - 3 景観に配慮したまちをつくる

【 環境事業指標 】

指 標	前年度 実績値 (R1)	最新年度 実績値 (R2)	中間 目標値 (R2)	最終 目標値 (R7)
苦情があった特定建設作業 (建設・解体作業)の割合	5%	14%	8%	5%
苦情申立人が満足した割合	72%	75%	45%	60%

【 令和2年度実績 】

苦情があった特定建設作業(建設・解体作業)の割合は、前年度と比べて9%増加した。

令和2年度の特定建設作業の届出件数は、騒音規制法に基づくものが379件、振動規制法に基づくものが234件で、前年度と同程度である。届出内容としては、削岩機・ブレーカーが9割以上を占め、苦情もこれらの作業によるものが増えている。

また、区民等からの公害苦情の申立ては437件で、その苦情に対して区の対応に満足した申立人の割合は、前年度から3%上回り75%であった。

【 令和2年度評価 】

コロナ渦における生活様式の変化により、苦情があった特定建設作業(建設・解体作業)の割合が前年度から増加し、中間目標値を下回っている状況ではあるものの、苦情申立人が満足した割合は前年度よりも増え、既に目標値を上回っている状況であり、順調に推移している。

【 今後の計画 】

特定建設作業を行う工事施工者に対しては、騒音振動対策を徹底すること及び近隣住民に工事について丁寧に説明してから作業すること等、きめ細かく公害防止を指導し、生活環境の維持に努める。

また、区民等からの公害苦情に対しては、解決に向けて迅速かつ適切に対応していく。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標4 - 1】安全安心を実感できるまちをつくる

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
都市・生活型公害の防止	環境監視事業の推進	環境保全課	大気汚染常時監視 (SO ₂ : 1か所、NO _x ・SPM : 2か所) 内河川水質調査(8か所4回、1か所2回) 道路交通騒音常時監視(6区間) 道路交通騒音調査(10か所)	継続 (理由)	区内の大気汚染、水質汚濁、騒音等について環境汚染状況を把握し、未然防止の啓発に努める。
	土壌汚染対策事業の推進	環境保全課	土壌汚染状況調査報告書：9件 汚染拡散防止計画書：0件 汚染拡散防止措置完了届出書：0件 土壌地下水汚染対策計画書：1件 土壌地下水汚染対策完了届出書：0件 土壌汚染に関する情報提供件数：1,804件	継続 (理由)	工場、指定作業場の廃止時には、適切に土壌汚染の調査を行うよう指導し、汚染の拡散防止を指導する。また、土壌汚染に関する情報提供に努める。
	工場認可及び公害防止指導事業の推進	環境保全課	工場設置・変更認可件数：15件 指定作業場設置・変更届出件数：5件	継続 (理由)	工場、指定作業場等に対し、公害の未然防止に向けて指導する。
	公害苦情処理事業の推進	環境保全課	公害苦情処理件数：437件	継続 (理由)	騒音、振動、悪臭等の公害苦情について、迅速かつ適切に対応し、解決を図る。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
都市・生活型公害の防止	民間建築物アスベスト調査助成事業の推進	環境保全課	民間建築物アスベスト確認調査助成金 助成件数 7件 232,500円	継続 (理由)	引き続き、民間建築物における吹付け材の分析費用について助成する。
	アスベスト対策資金融資あっ旋事業の推進	経営支援課	(1) 信用保証料補助金 1件 61千円 (2) 利子補助金 4件 131千円 既融資分を含む。	継続 (理由)	引き続き融資のあっせん事業を推進していく。 予算額 (アスベスト対策・公害防止合計) (1) 信用保証料補助金 4,597千円 (2) 利子補助金 3,334千円
	公害防止資金融資あっ旋事業の推進	経営支援課	(1) 信用保証料補助金 0件 0千円 (2) 利子補助金 13件 727千円 既融資分を含む。	継続 (理由)	
	ホームページ等による事業者向け情報提供	環境保全課	工場などの事業者に対して、工場認可手続、工場等の規制、土壌・地下水の汚染防止などについて情報提供した。また、アスベストに関する建材の事前調査についても事業者向けの周知を行った。	継続 (理由)	公害防止対策等についてホームページ等により情報提供を行い、事業者等に対し理解を求める。
	有害化学物質対策事業の推進	環境保全課	ダイオキシン類調査(2か所1回) 大気中の有害物質調査(2か所2回)	継続 (理由)	ダイオキシン類をはじめとする有害化学物質等について調査を行い、結果を公表する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境リスクへの対応	問題となる環境リスクに関する情報収集・提供	環境保全課	区内の放射線量について測定を行った。 空間放射線量の定点測定(4か所) 基準値を超える箇所はなかった。	継続 (理由)	区内の放射線量について調査し、結果を公表する。また、新たな環境リスクについて情報収集・提供し、区民の理解を図る。
老朽危険家屋対策の推進	老朽危険家屋等の所有者等への指導・助言等の実施	安全支援課	通報のあった老朽危険家屋の解決件数 44件 老朽危険家屋除却費等助成制度実績数 7件	継続 (理由)	平成29年度に策定した「墨田区空家等対策計画」に基づき、除却費等助成制度の活用も図りながら、迅速に対応していく。 令和3年度予算 (1)土地無償貸与を前提とした除却費助成 2,000千円(@2,000千円×1件) (2)不良住宅を対象とした除却費の助成 2,500千円(@500千円×5件) (3)無接道敷地に係る不良住宅を対象とした除却費の助成 2,000千円(@1,000千円×2件)

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 4 - 2】気候変動に適応したまちをつくる

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
ヒートアイランド対策の推進	家庭や事業所からの排熱の抑制についての普及・啓発	環境保全課	家庭用燃料電池発電給湯器の申請 8 件	継続 (理由)	引き続き、地球温暖化防止設備導入助成制度の補助メニューとして実施する。
	建築物の遮熱施工の推進(地球温暖化防止設備導入助成制度)	環境保全課	建築物断熱改修の申請 15件	継続 (理由)	引き続き、地球温暖化防止設備導入助成制度の補助メニューとして実施する。
	保水性塗装などを施した区道の整備	道路公園課	令和2年度は工事計画なし	継続 (理由)	令和3年度は工事計画なし
	校庭の芝生化	庶務課	該当なし	継続 (理由)	・計画校未定 校庭改修を行う際は、引き続き校庭の芝生化について検討する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
ヒートアイランド対策の推進	立体緑化(屋上及び壁面緑化)の推進	環境保全課	屋上緑化 ・屋上等緑化整備補助金：0件 0m ² ・屋上緑化調査件数：2件 ・安全点検件数：0件 ・「学校の環境施設維持補修計画(平成29年3月環境保全課策定、令和2年3月改訂)」に基づく学校屋上緑化補修工事中学校1校(桜堤中) 壁面緑化 ・助成件数：0件 0m ² ・壁面緑化維持管理支援小学校2校(錦糸小、業平小)	継続 (理由)	屋上緑化 ・「学校の環境施設維持補修計画(平成29年3月環境保全課策定、令和3年3月改訂)」に基づく学校屋上緑化補修工事中学校1校(文花中) 壁面緑化 ・壁面緑化維持管理支援小学校2校(錦糸小、業平小)
	緑のへいの設置奨励	環境保全課	・緑のへい等設置補助金 生け垣：2件 24.28m 植樹帯：3件 9.49m ² ブロック掘取り壊し：0件 0m	継続 (理由)	緑のへいの増設を図るため、助成制度のPRをより強化する。
	緑のカーテンの普及	環境保全課	・緑のカーテンづくり講習会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・緑のカーテンモデルの設置：25施設 庁舎、児童館4館、保育園11園、幼稚園1園、コミュニティ会館2館、その他6施設 ・緑のカーテンコンテスト 家庭部門：11件 団体部門：25件 伝説部門：1件	継続 (理由)	区民を対象とした緑のカーテン講習会やコンテストの実施、公共施設の緑のカーテンモデルの設置により、緑のカーテンの普及・啓発を行う。
	一定規模以上の建設事業に対する緑化指導	環境保全課	・緑化指導件数：164件 うち、建築物上の緑化指導件数：59件 ・緑化面積 地上部：7,607.04m ² 建築物上：2,872.04m ²	継続 (理由)	「集合住宅条例」及び「開発指導要綱」に基づく緑化指導を進める。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
熱中症対策の推進	熱中症の予防に関する普及・啓発	保健計画課	区報(1面:6/1号、その他の号:7/1、7/21、8/1、8/11、8/21、9/1、9/11)、ホームページ、ポスター、うちわ、チラシ等による普及啓発を行った。気象庁・環境省による熱中症警戒アラート(試行)の発表(暑さ指数(WBGT)が33以上)を確認した場合は、各施設へメール通知し区内各施設利用者への注意喚起を依頼した。	継続 (理由)毎年、夏の気温上昇が著しいため、暑さによる熱中症予防の普及啓発を継続的に行う必要がある。	区報(6/11、8/11、8/21号ほか)、ホームページ、チラシ、うちわ、麦茶パック、塩飴等による普及啓発を行う。気象庁・環境省による熱中症警戒アラートの発表(暑さ指数(WBGT)が33以上)を確認した場合は、区内・各施設へメール通知し区内各施設など利用者への注意喚起を依頼する。
	まちかどクールスポットの設置	環境保全課	両国周辺で屋外を中心にスポットを掲載した両国クールスポットマップを発行した。	継続 (理由)	令和2年度に作成したマップ等を暑さ対策として引き続き活用し、クールスポットの周知を行う。
豪雨対策の推進	堤防等の耐震性や治水機能の向上	都市整備課	【荒川】高潮対策工事(国) 【隅田川】スーパー堤防整備工事(都) 【北十間川、大横川】耐震化対策工事(都)	継続 (理由)	【荒川】河道内の浚渫工事(国) 【隅田川】堤防の耐震補強工事(都) 【北十間川、竪川】耐震化対策工事(都)
	雨水の貯留、浸透及び利用の推進	環境保全課	・助成制度活用による雨水貯留槽設置件数:3基 ・要綱・条例等の指導に基づく雨水貯留槽設置件数:21件(669m ³)	継続 (理由)	・引き続き区報やホームページ等で助成金制度の周知を図る。 ・引き続き要綱・条例に基づき指導を行う。
	下水の排水能力の強化	都市整備課	東京都下水道局が雨水幹線、ポンプ所の再構築及び老朽化した主要枝線等の再構築工事を行った。	継続 (理由)	引き続き、各工事を行う。区においては、東京都下水道局に対し、工事の早期完了を働きかける。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標4 - 3】景観に配慮したまちをつくる

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
都市景観に配置したまちづくりの推進	景観まちづくり推進事業	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・すみだ景観フォーラムに対する支援 実行委員会(全8回) ミニシンポジウム(令和2年11月7日) ・墨田区景観条例に基づく審査 事前協議対象 17件 届出のみ対象 168件 	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すみだ景観フォーラムにする支援 ・墨田区景観条例に基づく審査
道路不正使用の是正	放置自転車対策の推進	土木管理課	<p>定期的に放置自転車の撤去と放置自転車追放キャンペーンを行った。</p> <p>放置自転車撤去回数 948回 放置禁止区域内撤去台数 7,603台 放置禁止区域外撤去台数 616台</p> <p>放置自転車追放キャンペーン実績 錦糸町駅 2回 令和2年10月28日、12月17日 曳舟駅 1回 令和2年12月17日 東向島駅1回 令和2年10月29日 両国駅1回 令和2年12月17日</p>	<p>継続</p> <p>(理由)</p>	<p>定期的に放置自転車の撤去と放置自転車追放クリーンキャンペーンを行う。</p> <p>錦糸町駅周辺の自転車管理業務については、民間活力導入により、自転車の警告及び撤去を毎日実施している。これにより、放置自転車が大幅に減少したため、民間活力導入の拡大について検討する。</p>

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
道路不正使用の是正	自転車駐車場の整備	土木管理課	錦糸町駅南口付近に月額定期利用の機械式自転車駐車を整備し、平成31年4月1日に供用開始した。 ・錦糸町駅南口機械式自転車駐車場 住所 墨田区江東橋2-18-6先 収容台数 456台	継続 (理由)	施設や設備の経年劣化による駐車場内での事故やトラブルを未然に防ぐため、既存の自転車駐車を改修する。
	道路不正使用の是正	土木管理課	毎月2回(本所地区、向島地区各1回)の道路不正使用パトロールのほか、通常監察、陳情処理等による指導を行った。 看板・のぼり旗類253件 道路商品置場類 23件 足場等工事指摘 0件 その他指摘指導 396件	継続 (理由)	毎月2回(本所地区、向島地区各1回)の道路不正使用パトロールのほか、通常監察、陳情処理等による指導を行う。

第二次すみだ環境の共創プラン 基本目標 進捗状況評価

【 基本目標5 】

環境活動を実践する人が育つまち

【 個別目標 】

- 5 - 1 環境体験学習を推進する
- 5 - 2 協働による環境活動を推進する

【 環境事業指標 】

指 標	前年度 実績値 (R1)	最新年度 実績値 (R2)	中間 目標値 (R2)	最終 目標値 (R7)
環境ボランティア(緑と花のサポーター・エコライフサポーター)登録者の実働割合 ()	67%	69%	71%	75%

本人申出による活動休止者を除く。

【 令和2年度実績 】

環境ボランティアの実働割合は、69%となり、前年度と比べて2%増加した。なお、環境ボランティア登録者数は、前年度と比べて3名増加した。

エコライフ講座や水の循環講座等の環境体験学習のほか、燃料電池自動車と外部給電器を活用した水素利用の普及啓発は実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏休みすみだ環境プログラム及び森林整備体験については中止とした。

【 令和2年度評価 】

環境ボランティア登録者の実働割合は、前年度と比べて増加したが、中間目標値を達成することはできなかった。

環境に関することについて、区民等が、より自分事として身近に感じ、実践につなげやすい内容とする工夫や、参加意欲が高まる工夫等をしていく必要がある。

【 今後の計画 】

環境ボランティア登録者の実働率を指標として設定しているが、本来はボランティアの絶対数を増やしていくことが重要であり、ボランティア数を増やす施策により一層取り組んでいく必要がある。そこで、共創プランの中間改定では、本指標の見直しを行うこととする。実働率の視点については、今後も定期的な評価を継続して行っていく。今後とも、新型コロナウイルス感染防止策を徹底した上で、参加体験型で、環境問題を自分事として身近に感じ、実践につなげやすい内容とするなど、多くの参加者かつ環境活動を実践する人が増えるような工夫をしながら実施していく。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標 5 - 1】環境体験学習を推進する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境体験学習機会の拡充	環境・リサイクル体験学習事業の推進	環境保全課	環境体験学習講座9回 延べ129人参加 新型コロナウイルス感染症の影響で夏休みすみだ環境プログラムは企画せず、代わりに親子講座を2回開催。自然観察会は6回開催予定であったが1回中止している。	継続 (理由)	引き続き、環境体験学習講座を実施する。
	雨水利用体験学習事業の推進	環境保全課	水の循環講座 6回 延べ114人参加	継続 (理由)	引き続き、水の循環講座を実施する。
	環境体験学習出前事業の推進	環境保全課	【星空観察】中和小学校 50人参加 (協力：中和小学校 PTA) 【星空観察】梅若小学校 中止	継続 (理由)	引き続き、環境学習出前事業を推進していく。
	学校向け環境啓発冊子の配布	環境保全課	「すみだの自然と生きものガイドマップ」の増刷	継続 (理由)	「すみだの自然と生きものガイドマップ」を区内小学校3年生に配布する。
	エコライフ講座の開催	環境保全課	エコライフ講座 7回 延べ142人参加 8回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、1回中止とした。	継続 (理由)	引き続き、エコライフ講座を実施する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境体験学習機会の拡充	リサイクル・清掃事業に関する学習の推進	すみだ清掃事務所	・小学校向け冊子「できることからはじめよう」の発行 1,800部 ・出前講座の実施 区内小学校8校 555人、私立幼稚園1園、169人 ・環境学習プログラムを区ホームページに公開	継続 (理由)	引き続き、出前講座等を実施する
	自然観察会・講座の開催	環境保全課	・すみだ自然観察会 区内自然観察会：5回 延べ69人参加	継続 (理由)	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、区民の自然環境に対する意識啓発を行うため自然観察会を実施する。
	ビオトープを活用した環境学習の推進	環境保全課	「学校の環境施設維持補修計画（平成29年3月環境保全課策定、令和2年3月改訂）」に基づく学校ビオトープ補修工事 小学校2校（押上小、梅若小）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。	継続 (理由)	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、生きものについての普及啓発に努める。
環境体験学習拠点の確保	環境体験学習の場（大横川親水公園、荒川河川敷、緑と花の学習園）の充実・整備	都市整備課 道路公園課 環境保全課	【都市整備課】 ・実績なし 【道路公園課】 実績なし 【環境保全課】 ・緑化講習会：1講座3回 延べ34人参加 ・自然観察会：5回 延べ69人参加	継続 (理由) 都市整備課においては、事業計画の見直しにより廃止とする。	【都市整備課】 ・実施計画なし 【道路公園課】 実施計画なし 【環境保全課】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、緑化講習会や自然観察会を開催する。
	環境体験学習の活動と交流の推進	環境保全課	新型コロナウイルス感染症の影響で区内の施設を利用して、環境体験学習を実施した。	継続 (理由)	引き続き、環境体験学習事業を実施する。

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境教育・環境学習に関わる情報発信の強化	区報、区ホームページ、区内会回覧板などを活用した環境活動情報の発信の強化	環境保全課	墨田区環境審議会及びすみだ環境共創区民会議の議事録公開、ウォームビズやみんなで一緒に自然の電気キャンペーン等を区HPやSNSで広く情報発信した。また各種イベント、講座を実施する際に情報を区報、HPに掲載し、環境フェアについては町会、自治会の掲示板・回覧板も活用して広く区民にPRした。	<p style="text-align: center;">拡充</p> <p>(理由) 区民により伝わるよう、情報発信を更に強化する必要があるため</p>	SNSを効果的に活用するなど、区民により情報が行き届くよう、情報発信の工夫、強化する。
	区内で環境活動を行っている個人・事業者・団体の取組の紹介	環境保全課	すみだ環境フェア2020は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。各種講座において、企業や各団体等の環境保全活動の取組を紹介した。	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>(理由)</p>	すみだ環境フェア2021の外各種講座において引き続き実施する。

第二次すみだ環境の共創プラン 個別事業 進捗状況評価

【個別目標5 - 2】協働による環境活動を推進する

【個別事業】

評価が「継続」以外の場合は理由を記載

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境ボランティア・環境リーダーの育成	環境ボランティアの拡大	環境保全課	<p>【緑と花のサポーター】 登録者数：46人 活動実績：116回 延べ985人 (内訳) ・総会、定例会：4回 延べ20人 ・定例活動：54回 延べ768人 ・定例外活動：56回 延べ185人 ・講習会：2回 延べ12人</p> <p>【すみだエコライフサポーター】 登録者数：15人 活動実績：8回 延べ73人 (内訳) ・定例会：5回 延べ50人 ・すみだ環境フェア2020：中止 ・夏休みすみだ環境プログラム2020：中止 ・研修会：2回13人 ・エコライフ講座1回10人</p>	<p>継続 (理由)</p>	<p>【緑と花のサポーター】 ・「緑と花のまちづくり推進地域」等の維持管理支援を行う。 ・区が主催する講習会、イベント等のサポートを行う。 ・サポーター向け講習会及び見学会を実施して、技術や知識の向上を図る。 ・新規のサポーター登録者を増やすため、「緑化ボランティア体験会」を実施する。 【すみだエコライフサポーター】 ・区が主催する講座、イベント等のサポート ・サポーターが講座及び研修会に参加することで、技術や知識の向上を図る。 ・すみだ環境フェア2021に出展する。</p>
	環境リーダーの育成	環境保全課	<p>・すみだ自然みつけ隊平成27年度に自然環境観察員養成講座(中級)を修了した19人の自然環境観察員によるグループ活動で、令和2年度は、「みつけ隊と一緒に隅田公園生きもの観察会」を実施した。</p>	<p>継続 (理由)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、自然環境の保全に主体的な人材を育成するとともに、これまでの講座修了者やすみだ自然環境サポーターのステップアップを図る。</p>

施策	個別事業	所管	実績 (令和2年度)	評価 (継続・拡充・縮小・廃止)	計画 (令和3年度)
環境ボランティア・環境リーダーの育成	自然環境観察員養成講座の開催	環境保全課	「大人のためのすみだ自然観察会」を開催。 全5回 受講者53人 (延べ99人)	継続 (理由)	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、自然環境の保全に主体的な人材を育成するとともに、これまでの講座修了者やすみだ自然環境サポーターのステップアップを図る。
	緑と花のサポーター制度の推進	環境保全課	・サポーター登録人数：46人 ・活動実績：116回 延べ985人 (内訳) 総会、定例会：4回 延べ20人 定例活動：54回 延べ768人 定例外活動：56回 延べ185人 講習会：2回 延べ12人	継続 (理由)	・「緑と花のまちづくり推進地域」等の維持管理支援 ・区が主催する講習会、イベント等のサポート ・サポーター向け講習会及び見学会を実施して、技術や知識の向上を図る。 ・新規のサポーター登録者を増やすため、「緑化ボランティア体験会」を実施予定。
区民・事業者の支援	中小企業に対する省エネ対策の推進	環境保全課	・空調機器 1件 ・照明機器 9件	縮小 (理由) 制度開始当初より廉価で設備導入できるようになったほか、助成実績が少ないため。	東京都が実施している無料省エネ診断及び助成制度を情報提供する。
	環境マネジメント関連規格認証の取得支援	環境保全課	環境経営認証取得費助成制度 ・申請件数 1件	継続 (理由)	引き続き、支援事業を実施する。
	環境・リサイクル技術及び製品開発の支援	経営支援課	区内中小企業で環境関連製品の開発に取り組む事業者に対する支援を実施する。	継続 (理由)	引き続き、すみだビジネスサポートセンターにおける事業者等の支援を行う。
活動協働による環境充実 ・イベントの実	すみだ環境共創区民会議・区内の環境団体やボランティアと連携した環境活動やイベントの開催・充実	環境保全課	・すみだ環境共創区民会議の開催数：5回(うち自主会議は2回)	継続 (理由)	コロナ禍で、活動やイベント開催に制限が生じるが、効果的に活動、開催するよう工夫し、充実させる。

第二次すみだ環境の共創プラン
進捗状況評価
(令和2年度実績)

令和3年 月
環境担当 環境保全課